

目次

序	岩谷十郎	v
障害者権利条約に基づく被害者救済の意義	尹仁河	一
外交実務と国際法		
——最近の国際ルール形成の傾向と課題——	石垣友明	三七
国家承認の現状と今後の課題	濱本幸也	五七
国際調整枠組みと国内政策とのインタラクション		
——地球観測事業に関する調整を事例として——	栗山育子	八三

南シナ海問題からみた中国の国際法秩序への挑戦	倉重 奈苗	二二
国家管轄権外区域の海洋生物多様性 (BBNJ) のための枠組みに関する一考察		
—— 国連海洋法条約の下の新たな条約 (BBNJ 新協定) と生物多様性条約の交錯 ——	佐々木 浩子	三三
国際航空旅客運送における裁判管轄		
—— モントリオール条約上の Fifth Jurisdiction について ——	福村 麻希子	六一
ウズベキスタン共和国における国際法の受容に関する一考察		
—— 独立三〇周年を迎えるにあたって ——	バヒリ デイノフ・マンストール	一八五
日仏のヘイトスピーチに対する法規制に関する一考察	野口 有佑美	二二五
Re-Excavation of Fault in Article 3 of the 1907 Hague Convention IV on War on Land	MINAI, Keisuke	二二六

